気象と作柄の関連資料

平成18年12月

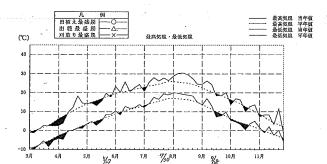
農林水産省 統計部

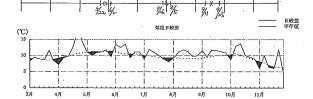
表 水稲の調査時期別作況指数〔昭和40~平成18年産(全国)〕

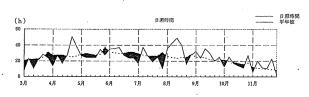
年 次	(収穫期) 8月15日 9月15日 10月15日 収穫期	作 柄 概 況
昭 . 40 41) 390 99 100 98 97 1 400 101 102 100 99	
41 42 43 44 45	2 453 107 109 111 112 3 449 107 107 108 109 4 435 102 104 103 102	中国以西は好天候により作柄良好。北海道では冷害発生。
45 46 47	5 442 104 105 104 103 6 411 98 95 93 93 7 456 103 103 102 103	北海道,東北では冷害,その他の地域でも台風(第23,25,26号(8月下旬~9月中旬)),及び病害の発生で作柄不良。 東海は9月中旬の台風第20号被害で作柄不良。北海道及び九州では作柄良。
46 47 48 49 50	3 470 105 107 106 106 9 455 102 103 102 102 0 481 104 105 106 107	梅雨により葉いもち発生し,東北,関東,東海で穂いもちが多発して作柄低下。その他地域はやや良。 9月中旬まで続いた残暑により全国的な大豊作。
51 52 53 54	427 100 95 94 94 2 478 104 104 105 105 3 499 106 107 108 108	7月以降全国的に高温・多照に経過し,生育,登熟共に良好。
54 55 56 57	5 412 99 91 88 87	8月の豪雨,台風第15号とその後の低温等で登熟不良,北海道・東北で冷害。東海以西では生育・登熟良。
58 59	7 458 100 99 97 96 3 459 100 99 97 96 9 517 103 105 108 108	北海道,東北及び関東の一部で冷害等。その他の地域では登熟期間の異常高温(北陸),高夜温·寡照,病虫害(西日本)。 梅雨明け以降全国的に高温·多照に経過,被害の発生も極少で,生育,登熟共に良好。35都道府県で史上最高の単収。
60 61 62	0 501 103 105 105 104 1 508 99 102 105 105 2 498 103 103 102 102	7月下旬後半以降好天候に恵まれ,また,台風の上陸もなく,病害虫も少なく,生育登熟共に良好。 北海道,中国及び九州では風水害,日照不足等で登熟が阻害されたが,その他の地域では天候に恵まれ生育登熟共に良好。
63 平 . 元 2 3	496 101 101 101 101	東北・北陸は,登熟期の曇雨天等で登熟が阻害されたが,その他の地域では一部を除いて,生育及び登熟共に良好。 近畿以西の一部では,9月中旬~10月中旬の秋雨前線及び台風第19,20,21号により登熟が阻害されたが,その他の地域は生育・登熟共に良好。
5	3	北海道は冷害,都府県は一部に台風の影響があるが全般的には台風被害及び病害虫の発生が少なく生育,登熟共に順調。 7月以降の異常低温により北日本を中心として大冷害。西日本では台風,長雨による被害。更に全国的にいもち病多発。
6 7 8	5 544 105 107 109 109 7 509 100 102 102 102 3 525 101 102 104 105	初期生育は,低温・日照不足で抑制されたものの,梅雨明け以降東北・北陸を除き高温・多照の天候に恵まれ登熟順調。 田植期以降低温・日照不足により北日本で初期生育が抑制されたものの,出穂期以降天候に恵まれ全国的に登熟は良好。
8 9 10 11	0 499 99 98 98 98	出穂期以降おおむね好天に恵まれ,登熟は良好。一部の地域で9月中旬以降の低温・日照不足や台風第9号,19号の影響。 7月中旬以降の低温・寡照。 8月に東北,関東及び北陸の一部の地域で集中豪雨。 9月の台風と長雨で穂発芽被害。 近畿から東の地域ではおおむね天候に恵まれ登熟が順調。中国・四国,九州では台風第18号(9月24日)による被害。全国で高温による乳白,カメムシの被害発生。
11 12 13 14 15 16	2 537 103 103 104 104 3 532 - 103 103 103 4 527 - 101 101 101	北海道で7~8月の低温・日照不足によりもみ数やや少なく、登熟もやや不良で作柄不良。青森、秋田で日照不足によりもみ数少なく、作柄やや不良。関東以西は一部で台風等の影響があったが、天候に恵まれ作柄「平年並み」以上。
15 16 17		北海道から近畿にかけての太平洋側は概ね登熟良好。8月中旬以降相次ぐ台風、長雨の影響により北海道、東北及び北陸の日本海側、中国、四国及び九州で被害。 台風第14号や登熟期間の高温、ウンカ等病虫害の影響により、九州を中心に被害が発生したものの、それ以外の地域では登熟がおおむね順調。
	<u> </u>	北海道を除く地域で全もみ数が平年を下回った。九州を中心に台風第13号による潮風害等の被害が発生した。 31日の値、平成16年度0月15日の佐沢塩料は0月10日の値である。

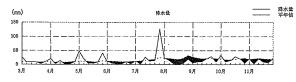
注:平成12年産8月15日の作況指数は9月1日の値、平成16年産9月15日の作況指数は9月10日の値である。

H11 (作況指数:103)

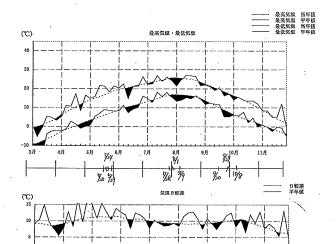


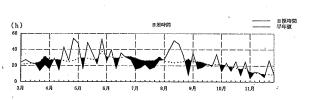


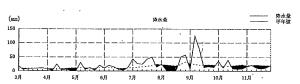




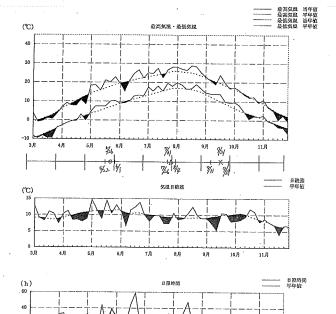
H13 (同100)

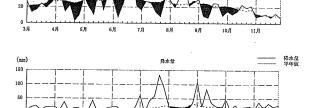




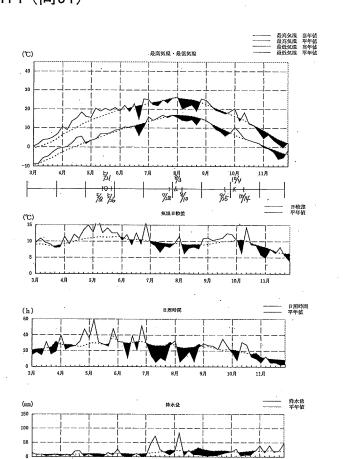


H12(同103)

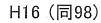


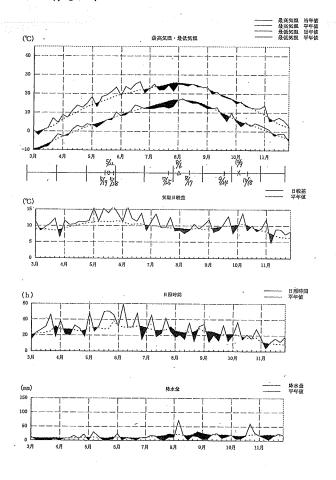


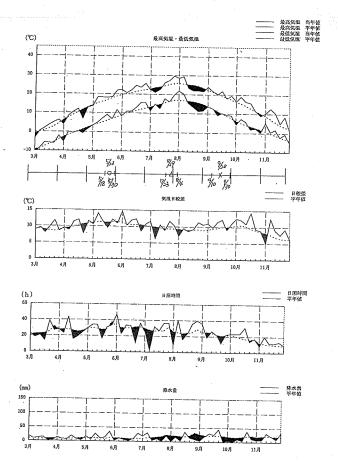
H14 (同91)



H15 (同73)

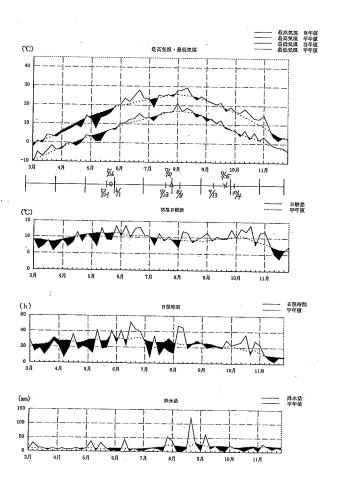


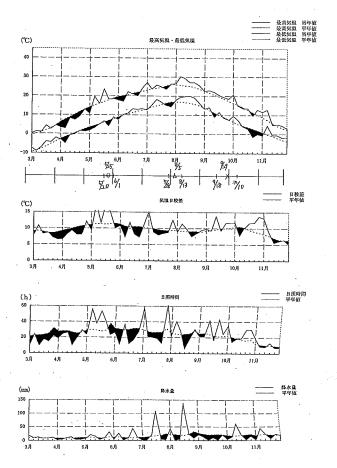




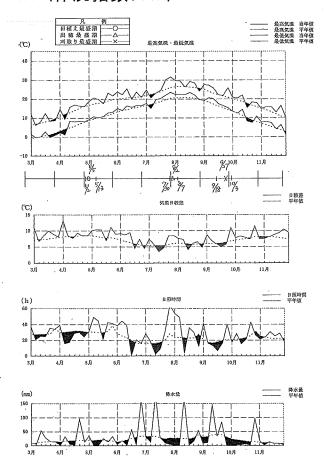
H17 (同109)

H18 (同105)

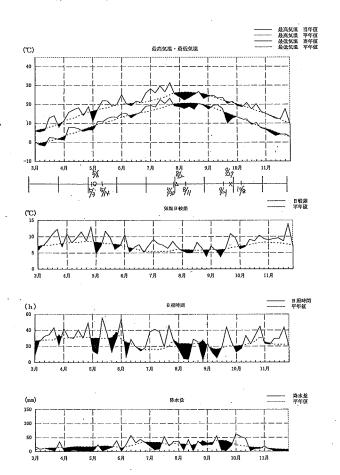




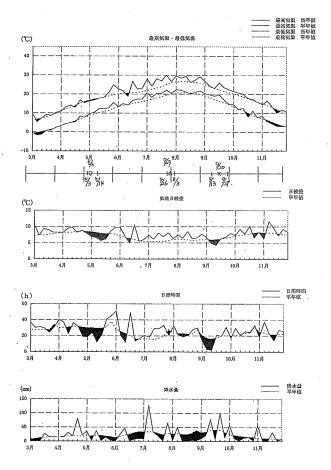
H11(作況指数:102)



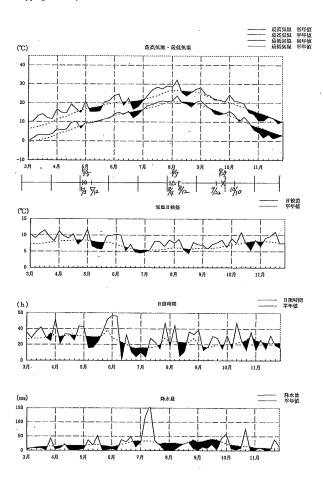
H13 (同103)



H12(同105)

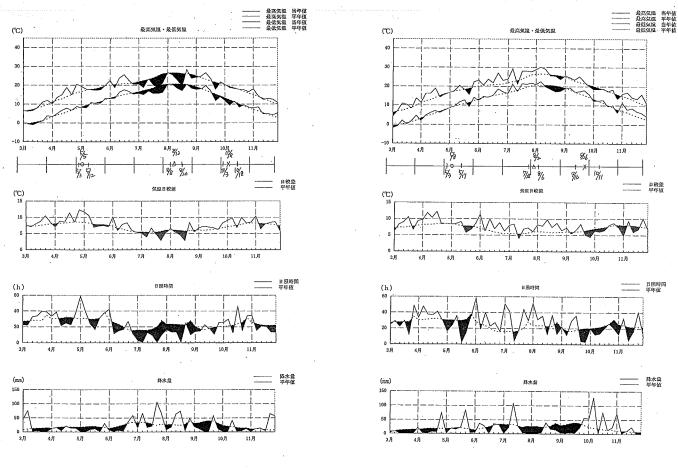


H14 (同103)

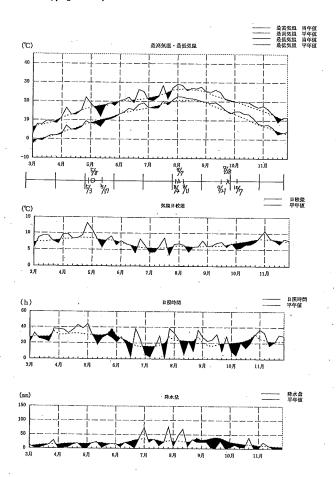


H15 (同69)

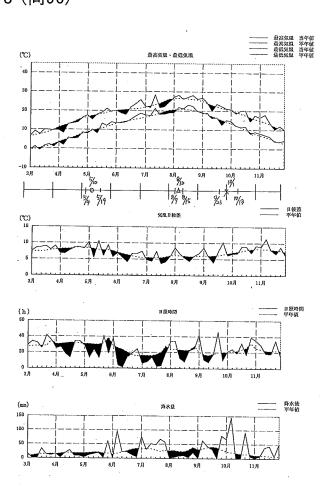
H16 (同108)



H17(同101)

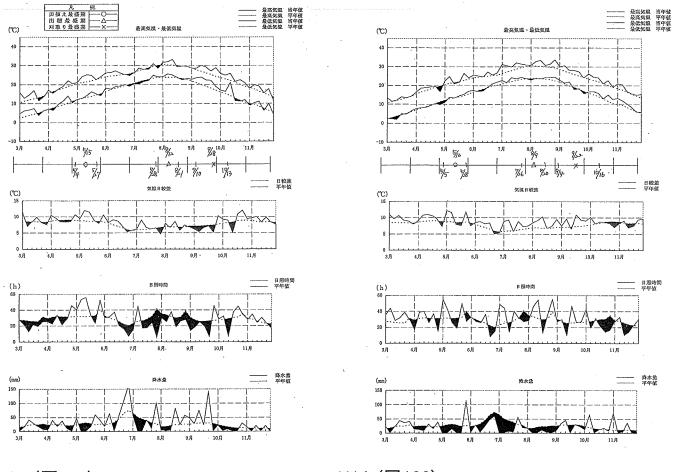


H18 (同96)

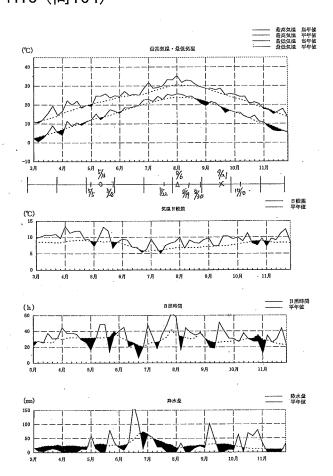


H11 (作況指数:99)

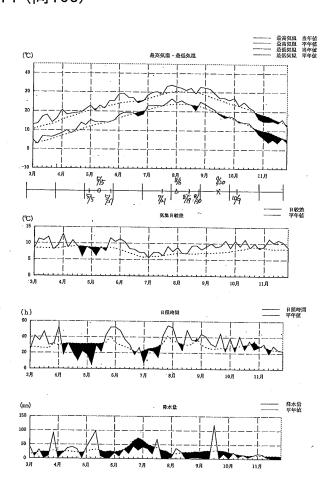
H12(同104)



H13 (同104)

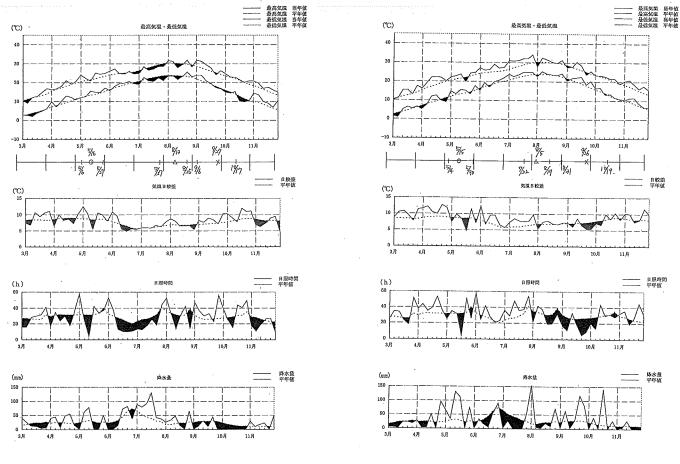


H14(同103)



H15 (同97)

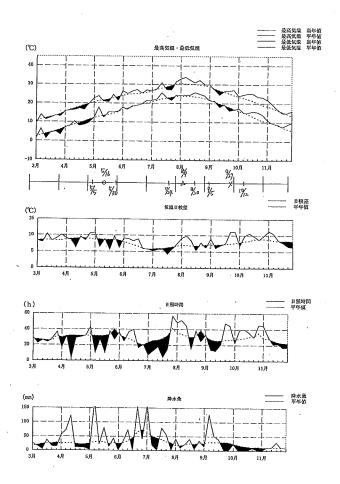
H16 (同97)



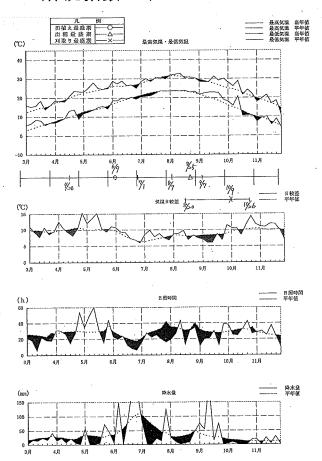
H17(同101)

| 日本政策 | 中午値 | 日本政策 |

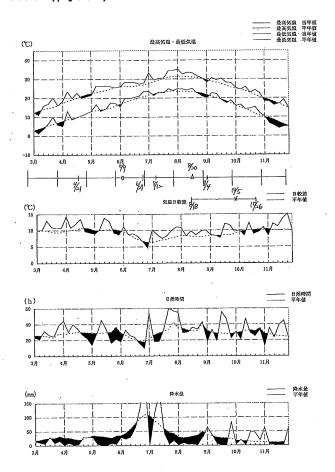
H18 (同97)



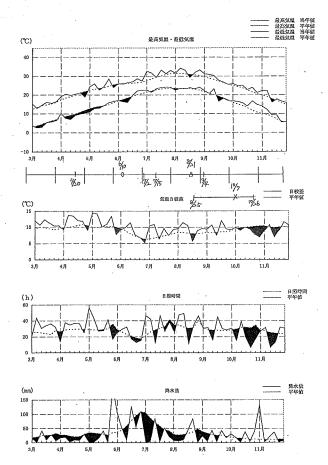
H11(作況指数:81)



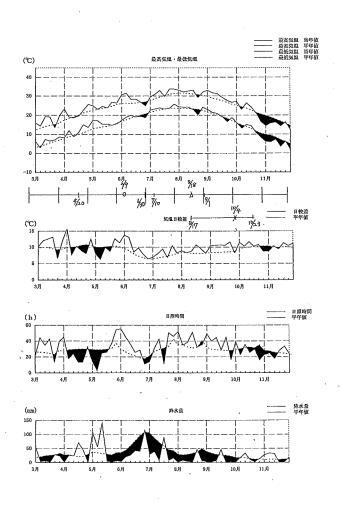
H13 (同103)



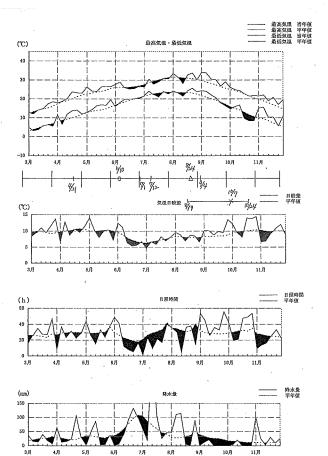
H12(同102)



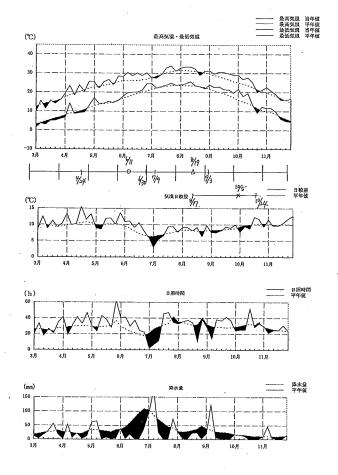
H14 (同103)



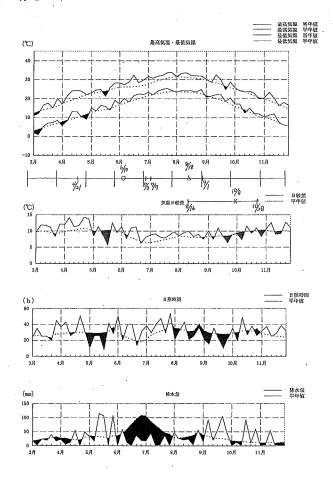
H15 (同96)



H17 (同93)



H16(同77)



H18(同85)

